

2024 年度 第二回須坂市環境審議会 議事録(要旨)

【日時】 2024 年 10 月 18 日(金) 午後2時～午後3時 10 分

【場所】 須坂市消防本部3階大会議室

【参加者】

〔出席委員〕:中村正、山岸和人、中島秀樹、竹前美枝子、師岡京子、山崎洋
早川隆一、杉本淳、西原秀次、穂刈哲明、河原輝久

〔欠席委員〕:山下徹也、宮下佐知子、中屋眞司、飯尾昭一郎、山下浩史、杉田恵美子

〔事務局〕:荒井市民環境部長、田幸生活環境課長、新井清掃センター所長
塚田課長補佐兼環境政策係長、元田課長補佐兼エコパーク振興係長、
宮沢清掃センター所長補佐、眞島環境創出係長、田村廃棄物対策係長、
中西主査、業田事務員

【配布資料】

- ・須坂市環境審議会委員名簿
- ・資料1 し尿処理手数料の改定について
- ・資料2 一般廃棄物処理基本計画の改定について
- ・資料2-2 須坂市一般廃棄物処理基本計画（抜粋）
- ・資料3 可燃ごみ用袋アンケート結果について

1 開会(事務局:田幸課長)

2 会長あいさつ (中島会長)

3 議 事(進行:中島会長)

(1) し尿処理手数料の改定について(事務局:田村係長)

資料1に基づき、事務局より説明。これに対し委員より次のような意見があった。

委 員:改定後料金 185 円の根拠を確認したい。

事務局:資料1の(4)し尿処理手数料の算定の項目にある②手数料の算定の部分となる。収集
単価 165 円に手数料 20 円を加えた合計が 185 円となる。資料には 185 円に消費
税を含めた 203 円の表記となっており、わかりづらく大変申し訳ない。

委 員:災害時対応に必要なことだと思うので、料金改定は仕方ないと考えている。根拠付
がされた数字なので、住民への説明をしっかりと実施してほしい。一方で、下水道へ
の接続を周知していくことも重要だと思うので併せてお願いしたい。

委 員:下水道未接続の住宅に対する市としての働きかけはどのようなことをしているのか。

事務局:該当する住宅所有者へ通知を送付したり、直接訪問して下水道接続のお願いをして
いる。

委 員:し尿処理事業に対して、市から補助金等の予算措置はあるのか。

事務局:現状は無い。今後、事業継続が厳しくなるような状況になった場合に検討しなければ

ならないと考えている。

委員：市では私設トイレの数を把握しているのか。また、過去にそのようなトイレに補助等を出していた話を聞いたが実績はあるのか。

事務局：公衆トイレについては把握しているが、私設トイレは把握できていない。また、知る限りではあるが過去に補助等をしていた実績は無い。

委員：資料1の2.し尿処理手数料改定検討の経過にある(3)①の表における人件費について、国の基準を用いたとのことだが、過去の統計に基づいて算出した数値で値上げ分をカバーできるのか。

事務局：国の統計のほか、現時点での事業者における従業員給与のデータも加味した数値となっている。事業者には手数料値上げには人件費上昇分も含まれている旨を説明し、従業員給与に適切に反映されるようにしたい。

委員：事業者の利益の記載は資料のどの部分にあたるのか。

事務局：資料1の2.し尿処理手数料改定検討の経過にある(3)①の表における④管理経費が事業者の利益にあたる。

(2) 一般廃棄物処理基本計画の修正について(事務局：田村係長)

資料2及び資料 2-2 に基づき、事務局より説明。これに対し委員より次のような意見があった。

委員：市の収集で回収しているペットボトル容器の量はどの程度か。

事務局：2023 年度実績で 50,155kg である。なお、取引価格は日本容器包装リサイクル協会だと乱高下するが、現在協定の話が出ている事業者の場合、安定した価格で取引できる見込みである。

委員：ペットボトル容器の収集と中間処理は市が実施している認識でよいか。

事務局：その通りである。

(3) その他

特に無し。

4 その他

可燃ごみ袋の容量の検討について事務局より説明。質疑等無し。

5 閉会

以上